

外国人材とともに

レポート課題

Aさんはフィリピン人女性。日本語学校で1年間日本語を勉強し、介護専門学校に進学。卒業後あなたの勤務する特別養護老人ホームの職員になりました。リーダーのあなたは、Aさんの上司で1年間OJTを行ってきました。入所当時は言葉の壁に戸惑うこともありましたが、1年経った今では基本的な介助もできるようになりました。

フィリピン人の人は、困っている人をみると放っておけない、知らない人にも親切にする、いつも笑顔で接する、「フィリピーノ・ホスピタリティ」と呼ばれる国民性があります。そのため、「彼女がいると明るくなる」「やさしくて何でもしてくれる」「いつもニコニコしていて本当にいい子だ」「彼女がいないと寂しい」などと、入所者の人気者です。

彼女は、職員や入所者との日常的な会話は全く問題がなく、総合的なコミュニケーション力は日本人より高いくらいです。ところが、日本語、特に漢字の「読み・書き」が苦手で『介護記録』が満足に書けません。彼女にはまだ読めない、理解できていない介護・医学専門用語が多いようです。

また、あなたの勤務する施設では「できることは入所者自身でやってもらう」という基本方針があります。「フィリピーノ・ホスピタリティ」は時として「できることまでお世話してしまう」こともあります。職員が気づいたときは入所者にやってもらうように指導をしていますが、アセスメントシートに基づいた「根拠のある介護」の意味が理解できていないようです。

そこで、まず、1年後に「介護記録（日常介護記録）」が書けるようになるために教育計画を立てることにしました。「根拠のある介護」の意味については、介護記録が書けるようになった後、教育をすることにしました。

### 課題1

言語の習得プロセス「聞く」→「話す」→「読む」→「書く」に沿って、大まかな目標設定を行ってください。

### 課題2

課題1の目標を達成するために「必要な教材」や「あれば便利な教材」を具体的に挙げてください。※市販のテキスト教材でもいいですが、「こんなテキスト教材があれば教育に役立つのではないだろうか」という想像力や発想力をフルに働かせて、具体的に書いてください。

介護記録には、いくつか種類があります。

- 利用者の名前や住所、疾患や介護度、家族構成などが書かれている「フェイスシート」
- 利用者の現在の身体状態や能力などの情報を収集分析し、ケアの目標を明確にする「アセスメントシート」
- 目標達成に向けてスタッフが提供する介護の計画を定めた「介護計画書」
- 介護計画書に沿って提供された介護の実践を記録する「介護経過記録」
- 体温や脈拍、食事や排せつといった日常の状態を記録する「日常介護記録」
- 事故やトラブルの内容を記録した「事故報告書」などがあります。

介護記録には、

- ①チーム間の情報共有
- ②根拠に基づいて意図的な介護を行う
- ③提供したサービスの証拠を残す

役割があります。

# 課題1 シート

能力	能力基準	3 ヶ月	6 ヶ月	12 ヶ月
聞く				
話す				
読む				
書く				

## 課題2 シート

聞くための教材	
話すための教材	
読むための教材	
書くための教材	